

P13 副作用のない新規合成殺癌剤と同様の作用機作および活性を有する天然ハーブ成分の検索 第二報

○高橋知孝

宮高透喜

佐藤利夫(徳島文理大学薬学部 薬品製造学教室)

【目的】

当研究室ではCOX-1,COX-2,5-LO阻害作用を有する副作用のない新規合成殺癌剤の研究を行っている。前報において天延ハーブの成分でも特にショウガ科の良姜がバランス良くCOX-1,COX-2,5-LO阻害作用を有していることを報告した。そこで今回より詳しい成分の検索と新たな薬理活性の測定を行った。

【方法】

良姜のエタノール抽出エキスをシリカゲルカラムクロマトグラフィーで分離し薬理活性を測定した。活性の強かった画分についてはゲルクロマトグラフィーで再分離を行った。

薬理活性としては、前報のCOX-1,COX-2阻害作用、5-LO阻害作用に加え、抗酸化作用を新たに測定した。

【結果】

良姜をカラムクロマトグラフィーで分離することにより、分離前のエタノール抽出に比べ薬理作用が数倍活性の強い画分を得ることができた。また、抗酸化作用の測定の結果から、良姜のエタノール抽出成分中に高い活性酸素除去能を持つものが示唆された。

【総括】

新規合成殺癌剤と同様の作用機作を持つ天然物としてショウガ科の良姜の成分を分離し、その薬理活性を調べた結果、様々な酵素に対して強い阻害作用を持つ画分が見つかった。現在は、HPLCを用いて成分を単離し、構造決定を行っている。